

国際機関でインターンしよう！

国連をはじめとする国際機関では主に大学**院**生(一部学部生可)を対象に、関心のある人に一定期間(通常、数か月)国際機関の勤務体験をしてもらう**インターンシップ制度**を設けているものがあります。

滞在費等の**手当**が支給される国際機関もあります。期間は、**6週間～1年**までと様々です。詳しくは各国際機関のウェブサイトでご確認ください。

<https://www.un.org/development/desa/youth/opportunities-within-the-un/internships.html>

国際機関人事センターのHPにもインターンシップ情報を掲載しています。

<https://www.mofa-irc.go.jp/shikaku/keiken.html>



よくある質問 所在地情報 お問い合わせ

国際機関とは 空席情報 IPO派遣制度 YPP インターンシップ情報 応募される方へ

学部生でインターンが可能な国際機関

(2018年10月現在)

(注:この他、ポストによって学部生の応募可とする機関があります。)

国際機関及び当センターを装った類似・偽サイト・詐欺にご注意ください。

国際機関	場所	期間	負担	学歴条件	
United Nations	国連事務局	ニューヨーク	2-6か月	自己負担	学部生(最終年) 修士課程又は博士課程在籍中 または学部・修士・博士卒業後1年以内
UNICEF	国連児童基金	ニューヨーク 又は各国・地域 事務所	6-26週間	自己負担	学部生(最終年) 修士課程又は博士課程在籍中 または学部・修士・博士卒業後2年以内
FAO	国連食糧農業機関	ローマ	3-11か月	手当あり	21歳～30歳 学部3年以上の在籍
CTBTO	包括的核実験禁止条約機構	ウィーン	3-12か月	自己負担	学部2年以上の在籍
IAEA	国際原子力機関	ウィーン	原則3か月-1年	手当あり	20歳以上 学部3年以上の在籍
ICC	国際刑事裁判所	ハーグ	3-6か月	自己負担	学部生最終年以上
IFAD	国際農業開発基金	ローマ	最大6か月	手当あり	30歳以下 学部2年以上の在籍
IOM	国際移住機関	ジュネーブ又は 各国・地域事務 所	8週間-6か月	一部手当あり	学部生(最終年) 修士課程在籍中 または学部・修士卒業後1年以内
OECD	経済協力開発機構	パリ	最大6か月	一部手当あり	学部生
UN Women	国連女性機関	ニューヨーク 又は各国・地域 事務所	2-6か月	自己負担	学部生(最終年) 修士課程又は博士課程在籍中 または学部・修士・博士卒業後1年以内

◆海外でインターンシップをしようと思っている
学生・院生の皆さんへ

国際機関でインターンシップをする場合、多くは無給ですが、(独)日本学生支援機構「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」では、海外の国際機関本部や事務所でインターンシップを行う場合も奨学金を得られる可能性があります!

<https://www.tobitate.mext.go.jp/>

トビタテ! 留学JAPANとは?



「トビタテ!留学JAPAN」とは政府だけではなく、
官民協働のもと社会総掛かりで取り組む「留学促進キャンペーン」です。

次年度からは、留学と観光を兼ねた日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す実感を醸成することを目的として、2018年11月より留学促進キャンペーン「トビタテ!留学JAPAN」を開始しました。政府だけでなく、社会総掛かりで取り組むことにより大きな効果が期待されるものと考え、各分野で連携されている企業や団体と連携し、500名程度の海外研修生を支援するほか、海外研修生「グローバル人材育成コンテスト」を開催し、海外研修生で活躍するグローバル人材を表彰します。

この度の取組により、「日本経済新聞」(JAPAN & BACK) (2018年11月14日掲載)において海外で活躍する若者やインターンシップ・ボランティア活動で海外研修生を支援する2020年度までの取組が紹介されています。【関係先】 関係先は海外研修生、海外研修生への企業研修先、海外研修生を支援する企業、海外研修生を支援する企業「トビタテ!留学JAPAN」の主な実施機関として、「国際協力機構(国際協力本部)」、「トビタテ!留学JAPAN」事務局、日本代表プログラム(2018年)からスタートしました。



外務省 国際機関人事センター
jinji-center@mofa.go.jp